

2022 国際総合空手道

第 39 回全日本空手道選手権大会 参加要項

- 【日時】 令和 4 年 9 月 1 8 日（日） *参加人数によって 3～4 部制にて開催予定。（全回入替制）
第 1 部：午前 1 0：0 0 頃 試合開始予定。（詳細は後日ご案内致します。）
- 【会場】 墨田区総合体育館 武道場（東京都墨田区錦糸 4 丁目 1 5－1 錦糸公園内）
- 【交通】 JR 総武本線 錦糸町駅 北口より徒歩 3 分
（駐車場に限りがございます。駅より近いので公共交通機関をご利用下さい。）
- 【主催】 国際総合空手道連盟
- 【大会ルール】 別紙の国際総合空手道連盟競技規程を参照下さい。
- 【出場資格】 大会ルールを遵守する事。健康である事。（健康診断を受けることを奨励します）
所属団体の流派・会派は問いません。（プロ興業選手の参加は出来ません）
※段、級を詐称しない事。感染症感染拡大防止対策を厳守する事。
- 【参加費】 ●中学生以下：6, 0 0 0 円 高校生以上：7, 0 0 0 円
（保険、パンフレット含む。）
※複数エントリーは、上記参加費用プラス 1 種目 2, 0 0 0 円。
（但し、組手と組手は不可。組手・形・古武道トリプルエントリーまで認めます。）
※中止となった 2 0 1 9 年第 3 6 回大会に参加申込された選手は参加費を割引致します。（別紙参照）
- 参加費は、大会申込書と一緒に現金書留にて大会事務局までご郵送下さい。
●一度申し込まれた参加費はいかなる理由があってもお返しできません。
- 【表 彰】 ●各競技部門、8 名以上は優勝・準優勝・三位（2 名）にメダル授与。3 名以下は優勝のみ、7 名以下は優勝・準優勝にメダル授与。
各コートでメダルのみ授与。賞状は希望者のみ各団体を通して申請制と致します。
尚、送料は各団体のご負担となりますのでご了承下さい。

【申込方法】 別紙申込書に記入のうえ、道場毎にとりまとめ下記事務局宛にお送り下さい。

【申し込み・問い合わせ先】

〒2 4 9－0 0 0 1 神奈川県逗子市久木 8－7－8 1

国際総合空手道連盟 総本部事務局 花元浄一宛

TEL・FAX：0 4 6－8 7 4－4 3 0 5

申込受付期間 7 月 1 日（金）～8 月 1 日（月）必着

裏面へ続く→

【厳守する事】（参加選手・来場者共通）

- *大会会場は原則無観客とします。中学生以下の保護者引率は選手1～3名につき1名の入場を許可します。団体毎の引率者（コーチ等）は1団体2名までとします。
- *選手は本人（保護者の同意）の意思決定において申し込みを決定する事。
- *来場者は全てマスクの着用をする事。
- *会場入場の際及び適宜、手指消毒・手洗いをを行う事。
- *会場内では周囲の人と常に距離を保つ事。
- *大声での応援は行わず、拍手などで応援する事。
- *各競技、必要防具類は全て選手個人又は各道場・団体毎に用意する事。
- *大会後14日以内に参加選手及び来場者が新型コロナウイルスに感染・発症した場合、個人の責任とする事。又、大会主催者へ道場・団体代表者を通じて速やかに報告する事。

【大会当日次のいずれかに該当する方は来場・入場出来ません】

- *当日体調が良くない方。（例：発熱・咳・咽頭痛・体の怠さなど）
- *ご家族や身近に感染が疑われる人がいる方。（濃厚接触者に該当・疑いのある方）
- *事前に申し込みの無い方。3～4部制にて該当時間で無い方。（全回入替制）

【その他】

- *選手の人数により種目の統廃合をする事がありますのでご了承下さい。
- *試合中のヤジ、妨害は当事者のみならず道場団体を失格にします。
- *判定に対するクレームは一切受け付けません。
- *反則による怪我・死亡であっても保険の範囲のみ保証し、主催者は一切責任を負いません。
- *器物破損など個人の責任において弁償していただきます。
- *当連盟除名処分を受けた者、暴力団や準構成員などの反社会的勢力団体・個人、また当連盟執行部により参加不相当と思われる方の参加は出来ません。

【国際総合空手道連盟 全日本空手道選手権大会 種目一覧】

部門	番号	種目	部門	番号	種目
フルコンタクト部門	1	一般男子 上級(級・段位不問)の部(16才以上)	防具付部門	56	幼児の部
	2	一般男子 中級(3級以下)の部(16才以上)		57	小学1年男子の部
	3	一般男子 初級(7級以下)の部(16才以上)		58	小学2年男子の部
	4	一般女子 上級(級・段位不問)の部(16才以上)		59	小学1~2年女子の部
	5	一般女子 中級(3級以下)の部(16才以上)		60	小学3年男子の部
	6	一般女子 初級(7級以下)の部(16才以上)		61	小学4年男子の部
	7	男子シニア 上級(級・段位不問)の部(51才以上)		62	小学3~4年女子の部
	8	男子シニア 初級(5級以下)の部(51才以上)		63	小学5年男子の部
	9	男子シニア 上級(級・段位不問)の部(46才~51才未満)		64	小学6年男子の部
	10	男子シニア 初級(5級以下)の部(46才~51才未満)		65	小学5~6年女子の部
	11	男子シニア 上級(級・段位不問)の部(41才~46才未満)		66	中学男子の部
	12	男子シニア 初級(5級以下)の部(41才~46才未満)		67	中学女子の部
	13	男子シニア 上級(級・段位不問)の部(36才~41才未満)		68	高校男子の部
	14	男子シニア 初級(5級以下)の部(36才~41才未満)		69	高校女子の部
	15	女子シニア 上級(級・段位不問)の部(46才以上)		70	一般女子の部
	16	女子シニア 初級(5級以下)の部(46才以上)		71	一般男子の部 軽量級(65kg未満)
	17	女子シニア 上級(級・段位不問)の部(41才~46才未満)		72	一般男子の部 中量級(80kg未満)
	18	女子シニア 初級(5級以下)の部(41才~46才未満)		73	一般男子の部 無差別(80kg以上)
	19	女子シニア 上級(級・段位不問)の部(36才~41才未満)		74	シニアの部 軽量級(65kg未満)40才以上
	20	女子シニア 初級(5級以下)の部(36才~41才未満)		75	シニアの部 中量級(80kg未満)40才以上
	21	高校男子2・3年生 上級(級・段位不問)の部	76	シニアの部 無差別(80kg以上)40才以上	
	22	高校男子2・3年生 初級(5級以下)の部	* 参加人数によっては級位・体重で分ける場合がある		
	23	高校男子1年生 上級(級・段位不問)の部	グローブ部門	77	一般男子の部 軽量級(60kg未満)
	24	高校男子1年生 初級(5級以下)の部		78	一般男子の部 中量級(70kg未満)
	25	中学男子2・3年生 上級(級・段位不問)の部		79	一般男子の部 重量級(80kg未満)
	26	中学男子2・3年生 初級(5級以下)の部		80	一般男子の部 無差別(80kg以上)
	27	中学男子1年生 上級(級・段位不問)の部	* 16才以上とする		
	28	中学男子1年生 初級(5級以下)の部	ノコンタクト部門	81	小学1~2年男女の部
	29	中学女子2・3年生 上級(級・段位不問)の部		82	小学3~4年男女の部
	30	中学女子2・3年生 初級(5級以下)の部		83	小学5~6年男子の部
	31	中学女子1年生 上級(級・段位不問)の部		84	小学5~6年女子の部
	32	中学女子1年生 初級(5級以下)の部		85	中学男子の部
	33	小学女子6年生 上級(級・段位不問)の部		86	中学女子の部
	34	小学女子6年生 初級(5級以下)の部		87	高校・一般男子の部(16才以上)
	35	小学女子5年生 上級(級・段位不問)の部		88	高校・一般女子の部(16才以上)
	36	小学女子5年生 初級(5級以下)の部		* 参加人数によってはシニアを設ける(42才以上)	
	37	小学女子4年生 上級(級・段位不問)の部		形部門	89
	38	小学女子4年生 初級(5級以下)の部	90		小学1~2年男女の部
	39	小学女子3年生 上級(級・段位不問)の部	91		小学3~4年男女の部
	40	小学女子3年生 初級(5級以下)の部	92		小学5~6年男女の部
	41	小学女子2年生(級・段位不問)の部	93		中学男子の部
	42	小学女子1年生(級・段位不問)の部	94		中学女子の部
	43	小学男子6年生 上級(級・段位不問)の部	95		高校男子の部
	44	小学男子6年生 初級(5級以下)の部	96		高校女子の部
	45	小学男子5年生 上級(級・段位不問)の部	97		一般男子の部
	46	小学男子5年生 初級(5級以下)の部	98		一般女子の部
	47	小学男子4年生 上級(級・段位不問)の部	* 参加人数によってはシニアを設ける(42才以上)		
	48	小学男子4年生 初級(5級以下)の部	古武道部門		99
	49	小学男子3年生 上級(級・段位不問)の部		100	小学生高学年の部
	50	小学男子3年生 初級(5級以下)の部		101	中学生の部
	51	小学男子2年生 上級(級・段位不問)の部		102	高校・一般の部
	52	小学男子2年生 初級(5級以下)の部	* 参加人数によってはシニアを設ける(42才以上)		
	53	小学男子1年生(級・段位不問)の部			
	54	幼児年長男女(級・段位不問)の部			
	55	幼児年中以下男女(級・段位不問)の部			

【その他】試合において、特に安全をはかるうえで「参加申込書・誓約書」記入(身長・体重)正確にお願いします。尚、学年間違いや種目間違いは失格となりますのでご注意ください。各部門選手が少ない場合は統廃合します。

感染症感染拡大防止対策について

本大会における感染症感染拡大防止対策について下記の通りとします。
各道場団体代表者の皆様、参加選手及び付添ご父兄の皆様への周知をお願い致します。

- 武道場内ではマスクを着用する事。
- 体調のすぐれない方、風邪のような症状のある方は来場しない事。
- 大会当日以前、2週間以内にコロナウィルスに感染した方、また感染者の濃厚接触者に当たる方は来場しない事。
- こまめに手洗い・手指消毒を行う事。

- 武道場内では人との距離を保ち、大きな声での会話は避けること。大きな声での応援も控える事。
- 武道場の利用規定に従う事。
- 飲食は、指定された場所のみで行う事。

- 大会当日、選手及び付添等来場者は感染防止対策チェックリストに記入し大会事務局に提出する事。
(申込受付後団体ごとに送付します)
- 本大会後、2週間以内にコロナウィルス感染症の感染・発症が確認された場合は速やかに団体代表者を通じ大会事務局まで報告する事。

- 各競技における対策内容を確認し、必要な防具類は各自（又は道場団体で）用意する事。
(大会ルール参照)
- 組手競技における選手の招集は競技により異なりますが、原則3試合前を目安とします。
- 各コート、付添（セコンド・コーチ）は1名のみ該当選手の出場2試合前からのみとする。試合終了後速やか退場する事。
- 武道場へは選手・スタッフ・審判役員以外は入れません。付添・保護者（中学生以下の選手1～3名に対し1名）は観覧席より拍手などで応援する事。
- 表彰式は各コートにてメダルのみ授与を行い、賞状は希望者のみ各道場・団体を通して申請制と致します。

- 開会式・閉会式は行わず、開会宣言・選手宣誓、閉会宣言のみを行います。

*** 以上の対策は、大会案内資料作成時の体育館及び市区町村の対策規定を基に作成しております。**
大会当日までにその規定が変更されることがある場合、順次変更させていただきます。ご理解ご協力をお願い致します。

国際総合空手道連盟 競技規程

● 防具付部門 ※防具類は全て持ち込みとなります

1. 防具 : 面(Kプロテクター・スーパーセーフ面)、胴(K ボディープロテクター、又は同等の物)
拳・足サポーター(布製:拳サポは空道フリストガード/全日本硬式空手道連盟公認拳サポを推奨します。)
ファールカップ着用。女子アンダーガードは任意。
2. 試合時間:2分間(幼児、小学、中学、女子、マスターズは1分30秒)の流し。(ランニングタイム)
延長戦1分間(1ポイント先取り勝ち)。**決勝戦のみ再延長戦**(1ポイント先取り勝ち)。
3. ポイント : 8ポイント先取、又はポイントの多い方が勝ち。同点の場合は判定。(マスト方式)
【1 本】上段への蹴り。的確な打撃によるダウン。= 3ポイント
【技あり】胴着用部位(中段)への的確な蹴り、下段へのまわし蹴りが的確に決まり崩れる又は動きが止まった時。= 2ポイント
【有効】上段(ポリカー面部)、中段(胴部分)への的確な突き。(フック有効) = 1ポイント
4. 判定:ポイントの多い方を勝ちとする。同点の場合延長戦。**決勝戦のみ再延長戦**。延長戦・再延長戦において同点の場合判定を行い、あきらかに攻撃の多い方を勝ちとする。(マスト方式)
5. 反則:故意の投げ、掴み、喉・金的への攻撃、膝蹴り、掌底打ち、肘打ち、アッパー、耳へのフック、倒れた相手への直接攻撃、執拗な下段への蹴り。反則行為には「忠告」「警告」:相手に1ポイント、「反則注意」:相手に2ポイント、「反則」:失格とする。



● フルコンタクト部門 ※防具類は全て持ち込みとなります

1. 防具 : 面(フルコン用ヘッドガード)、
拳サポーター(布製とする。極端に薄いもの又は大きすぎるものは使用禁止)、足サポーター(布製で足甲までカバーするものとする。)、ファールカップ着用。**※一般男子上級はファールカップのみ着用。**
女子は胸部プロテクター着用(プラスチック製板状の物・腹部までカバーする物は禁止)。
* 小中学生女子は任意とします *
2. 時間 : 本戦2分間(幼児~高校生・女子・シニアは1分30秒)。
延長戦2分間(幼児~高校生・女子・シニアは1分間)
決勝戦のみ再延長2分間(幼児~高校生・女子・シニアは1分間)。
3. 有効技 : 【1本】反則箇所を除いて、突き・蹴り・肘打ち・膝蹴り等を瞬時に極め相手を3秒以上ダウン又は戦意を一時的に喪失させた時。又は技あり2本。
【技あり】1本に至らず相手が3秒以内に立ち上がった時。無防備に上段蹴りが的確に決まった時。
(かすったり、のりかかったものはとらない)
足掛け技を含め、きれいに倒した相手への瞬時の突きにより極めた場合技ありをとる場合もある。
4. 判定 : 互いに技ありの無い場合、有効打の多い方が勝ち。(ダメージ・手数・気迫を考慮する)本戦引分けの場合延長戦。延長戦引き分けの場合体重判定とし、軽いほうの勝ちとする。(決勝戦のみ再延長)
* 判定時、主審副審同時上げとする *
5. 反則 : 手技による首から上への攻撃。金的蹴り。頭突き。背中への攻撃。倒れた相手への直接打撃。
かけ、ひっかけ、掴み、投げ等。相手を押す(掌底等)。頭、胸、おなかを付けての攻撃。
※一般男子上級以外は上段への膝蹴りは禁止。
6. その他 : 反則には注意が与えられる。注意2で減点1、減点2で失格(減点1は相手選手に技あり)。
故意の反則攻撃、逃げまわる場合失格とする。テーピング禁止(ケガの場合ドクターの許可が必要)

● グローブ部門 ※防具類は全て持ち込みとなります

1. 防具 : ヘッドギア(顎有りのもの)、グローブ(16オンス)、足(布製)、金的サポーター、マウスピースを着用。
2. 時間 : 本戦2分間。延長戦1分間**(決勝戦のみ再延長1分間)**
3. 有効技 : 上段、中段への突き。上段、中段、下段への蹴り。
【1本勝ち】K. O. 突き・蹴りによる攻撃で3秒以上ダウンさせた時。または技あり2本。
【技あり】突き・蹴りによる攻撃で相手が一時的にダウン(3秒以内)した時。倒れはしないが、一方的に連打を入れた時。
4. 判定 : 互いに技ありの無い場合、有効打の多い方が勝ち。本戦引き分けの場合は延長戦1分間。
延長戦はマストシステム方式とする。**(決勝戦は再延長)**
5. 反則技 : 肘による攻撃。頭突き。投げ。掴み。金的攻撃。関節蹴り。背部への攻撃。押し。度重なる場外。掴んでの膝蹴り(片手による瞬時の掛けは可)。倒れた相手への直接攻撃。首相撲。
6. その他 : グローブ中に手袋の使用は可(1枚まで)バンテージ不可。
反則には注意が与えられる。注意2で減点1、減点2で失格。故意の反則攻撃、逃げまわる場合失格とする。テーピング禁止(ケガの場合ドクターの許可が必要)

● ノンコンタクト部門 ※防具類は全て持ち込みとなります

1. 防 具 :面(メンホー)、拳(赤・青)、足、金的サポーター使用(女子はインナーを着用)。
※一般男子は拳、足、金的サポーターのみ。(面無し)
2. 時 間 :本戦2分間(小学・中学は1分間、女子は1分30秒)のフルタイム。
3. ポイント:【有効】中段・上段への突き・打ち。= 1ポイント。
【技有り】中段蹴り、下段蹴り(けん制的な技のつなぎとして使用可)が的確に決まり相手の動きが止まった時。= 2ポイント
【一本】上段蹴り、倒れた相手への突き・蹴り。= 3ポイント。
◆小学・中学生 :顔面・頸部へのコントロールされたコンタクトは可。上段蹴りでのスキンタッチは可。
ポイント距離は0~3cm。
◆一般 男・女 :スキンタッチ又は0~1cmの距離への突き蹴りはポイント距離とする。
4. 判 定 :【8ポイント差で勝ち(小学、中学、女子は6ポイント差)】判定勝ち【ポイントの多い方が勝ち】
本戦引き分けの場合は再試合1分間、ポイントの多い方が勝ち。
再度引分けの場合は主審及び副審3名の判定とする。
5. 得点部位:上段・中段への突き・打ち・蹴り。(顔面、頭部、頸部、胸部、腹部、背部、脇腹)
6. 反 則 技:攻撃部への過度の接触技(コントロールされていない技)、危険な投げ、金的攻撃、執拗な下段蹴り、関節蹴り、掌底・拳などによる押し合い掴みあい、膝蹴り、バックブロー、倒れた相手への直接攻撃

● 形部門 トーナメント試合のフラッグ制で実施する。

1. 判定基準
a.使用される形の理解度。b.本来の意味での演武。c.良いタイミング・リズム・バランス・極め。d.極めに必要な正確で適切な呼吸。e.着眼及び集中力。f.適切な足の緊張を伴う正確な立ち方。g.腹部の適切な緊張、又腰の上下の動きが無いこと。h.演武する流派の基本。i.その他形の難しさ、内面的な部分の評価。
2. 判 定 :フラッグ制で3~5名の審判により行う。(判定に引分けは無い。)
3. 形規定 :平安・ピンアン・撃砕・普及形で予選を行う。ベスト4(準決勝)から自由形を選択できる。
但し、創作形・中国拳法の形は不可。同じ形を繰り返して良い。
※予選使用可能な形を指導されていない道場については、事前(申込時)に使用する形を申告する事を条件に他の形の使用を認めます。
※礼法・入退場については別紙にてご確認ください。但し当日の大会申し合わせ事項に準ずる。

● 古武道部門 トーナメント試合のフラッグ制で実施する。

1. 使用武器
棒・櫓等、長物の武器、ヌンチャク・サイ・トンファー等、短い物の武器、混合で行い試合毎(演武毎)に武器を使い分けても良い。(手裏剣・鎖鎌は不可)
* 棒の長さは演武者の身長±10cm.前後とする。カマ等は切れないものを使用する事。
ラバー・ゴム製の武器は使用禁止。(サイクロームは可)
2. 判定基準:武器のコントロール精度。着眼及び集中力。気迫と極め。
3. 判 定 :フラッグ制で3~5名の審判により行う。(判定に引分けは無い。)
4. 形規定:自由。ただし、創作形・中国拳法の形は不可。同じ形を繰り返して良い。

<その他>

- 審判、選手へのヤジ、暴言など礼儀を欠いた言動には、その所属道場団体(師範、選手)を退場とします。
- 判定結果へのクレームは一切受け付けません。
- 主審の判断で試合の続行が不可能と判断される場合があります。
- 試合での事故(死亡、怪我)は、主催者は一切責任を負いません。(スポーツ保険は各団体にて加入のこと)
- 防具・サポーター・保護具は全て各自でご用意下さい。
- ファールカップは空手衣の中に着用して下さい。女子以外空手衣の下に T シャツ等を試合中は着用しないで下さい。<但し特別な事情のある方は事前に大会事務局まで申し出て下さい。刺青・タトゥーのある方も含まれます>
- テーピング禁止。<但し、ドクターの許可があった場合は除く>
- 防具付・フルコンタクト・グローブ部門の選手は特に、試合後の飲酒は避けて下さい。
- ウォームアップは指定場所以外では行わないで下さい。又、会場の壁などを叩いたり蹴ったりしないで下さい。
- 選手呼出しのアナウンスで2度呼び出して居ない場合は失格となるおそれがあります。ご注意下さい。
- 試合会場での飲食は禁止です。(水分補給は除く)
- ゴミは各自で必ず持ち帰って下さい。

2022国際総合空手道 第39回全日本空手道選手権大会 参加申込書

申込受付期間 2022年7月1日（金）～8月1日（月）締切

国際総合空手道連盟大会事務局長殿 大会出場に関わる誓約及び申込書 令和4年 月 日

所属団体名（流・会派名） <small>ふりがな</small> からてどう ごしんかい 空手道 護心会 公開 <input checked="" type="radio"/> 非公開 <input type="radio"/>		責任者氏名 <small>ふりがな</small> とりごえ こういち 鳥越 恒一 印	
団体・道場 住所 〒 330-0072 埼玉県さいたま市浦和区領家7-10-14		電話・FAX 090-1050-4293 048-823-9580	
誓約 私は大会規定を十二分に理解、厳守し、大会中に負傷・死亡（反則によるものも含む）又はその他の事故を負っても個人の責任とし、一切連盟・主催者及び関係者、相手選手に請求しない事、又ジャッジについて一切のクレームを申し立てない事を誓約致します。 コロナウィルス感染拡大防止策に協力し、万が一感染した場合も自己の責任と致します。			
出場者氏名 <small>ふりがな</small> 印		性別 男・女 年齢 才	学年 級 段 幼児（年少・中・長） 小学・中学・高校（ 年）
20才未満の場合保護者署名 印		身長 cm / 体重 kg	
住所 〒			
電話・FAX		携帯	
出場部門に○をして下さい			種目番号
フルコンタクト ・ 防具付 ・ グローブ ・ ノンコンタクト ・ 形 ・ 古武道			
過去の入賞歴		有 ・ 無	
入賞大会名成績 ・ 他 特記すべき事項			

*級・段位の詐称をしない事。身長・体重、ふりがな、他、記入漏れの無い事をご確認の上お送り下さい。